

上田かつよしを育てる会だより (井原市議会議員 上田勝義の思い、活動を、お知らせする広報紙です)

18.10 議会質問

1. 住みよさランキングを意識した施策展開について

市長の後援会だよりで、また有力な後援者の声として、都市データパックによる住みよさランキングでの現状の低いランキングについて指摘をされていることへの認識をどう持たれていますか。また、その認識に立ち今後どういった施策展開でランキングを上げていかれようとしているのでしょうか。他にもいろいろな指標を用いたランキングがありますが、今後そういうたぐいのランキングを意識してまちづくりを進めていくお考えでしょうか。

2. 環境施策についての基本的な考え方について

このたびの選挙における市長のリーフレット、後援会だよりでは、環境施策についての記述がないに等しいと思われませんが、市長自身の環境に対する基本的な考え方についてお聞かせください。

3. 教育問題について

市長自身の教育についての基本的な考え方についてお聞かせください。

4. 市民と協働のまちづくりについて

どちらの自治体でも「市民と協働」のまちづくりをいわれる昨今ですが、市長としては、「協働」ということをどうとらえ、「協働」ということでの主眼をどこに置かれて、具体的な施策展開を図られるのでしょうか。

5. 井原鉄道(株)について(市民の足として、また観光面から)

われわれ市民の鉄道である井原線について、市長としてどう思われていますか。今後将来に向けてこの鉄道がどういう姿であるべきなのか、そしてどういった施策展開をされようと思われているのでしょうか。

6. 透明な市政運営について

透明な市政運営という文言を目にしましたが、どのようなことをお考えですか。現在市議会のHPでは議長交際費の公表を始めていますが、市長交際費の公表というようなものは、他市でも積極的にされていることで、特別なことでもないように思われます。手始めにすぐにできることからされませんか。他にも公表すべきことは多いではありませんか。

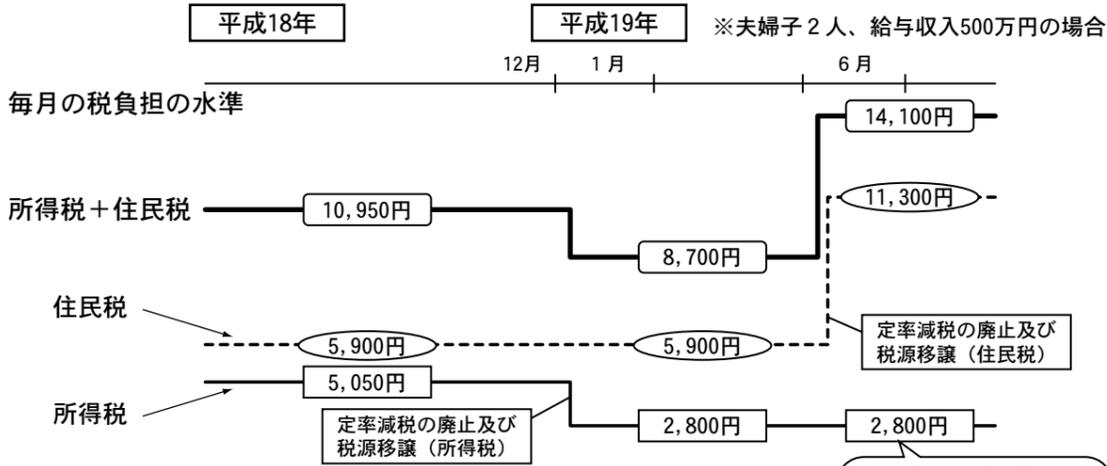
7. 高梁市川上町佐屋地区の境界線変更について

1市2町の合併前から川上町佐屋地区の住民から旧芳井町への編入を懇願されていた経緯がありますが、合併ということで、川上町が高梁市に、芳井町が井原市になり、高梁市と井原市が当事者ということになりました。今後高梁市から働きかけがあった場合どうお考えでしょうか。

8. IT施策・電子自治体構築について

市長自身の公約にITの文字はないのですが、今やITを考えないで行政サービスができない時代になっていると思います。電子自治体構築に終わりはしないわけですが、電子自治体構築の濃度、さらに市長自身は今後IT施策をどう展開されようとお考えでしょうか。双方向のCATVは今後急展開で進めていく事になるのでしょうか、施設整備と個別接続の問題をどうするのか。

平成19年の増額変動イメージ(月額)



※1. 所得税は各年分の給与収入を月額換算して(16で除して)仮置きした上で、給与所得の源泉徴収額表(月額表)により算出したものであり、個人住民税は各年度分の税額を月額換算した(12で除した)ものである。
 ※2. 百円未満を四捨五入しているため、所得税と住民税を合わせた負担額が一致しない場合がある。
 ※3. 定率減税廃止の影響等により、住民税が減額となるのは給与収入が1,599万円超、月額所得税が増額となるのは同1,480万円超となる(年額の所得税が増額となるのは同1,159万円超)。

近況報告

H18. 9. 21より新会派「未来21」を結成しました。今後共よろしくお祈りします。

- 7. 1 松畑熙一先生中国学園大学学長就任祝賀会 出席
- 7. 2 省エネ実践研究会
- 7. 6 福祉サロン視察 松山市
- 7. 14 中四国 高等学校PTA大会
- 7. 27 大阪高槻市ピッコロ保育園 視察(食育)
- 8. 6 川漁師体験ツアー(山野町小田川で) 小田県笹舟力ヌークラブ主催
- 8. 10 地方自治政策研究会(石井正弘岡山県知事)
- 9. 9 笠岡高校千鳥祭
- 9. 27 神辺レッズ野球大会
- 10. 15 ふれあいフェスタ
- 10. 16 笠岡高校研修旅行(神戸大学)
- 10. 27 地方自治政策研究会(片山虎ノ助参議院議員)
- 10. 29 旧山陽道を歩く会(吉備津神社~清音駅)
- 11. 8 教育講演会 石川星稜高校野球部総監督 山下智茂氏(福山大谷台小)
- 11. 15 PTA学校訪問(倉吉東高校)
- 11. 23~25 清溪セミナー(東京・日本青年館)

18.12 議会質問

1. 市民への各種情報発信について

- ①緊急時における情報発信の手段について様々な方法があるが、市としての考え方を聞く。
- ②コミュニティFMを利用した緊急告知ラジオについての可能性を聞く。
- ③学校から保護者への不審者情報の発信についての考え方を聞く。
- ④市長のメールマガジンを発信することについての考え方を聞く。

2. 安全安心なまちづくりを担う消防組織について

- ①消防庁の「消防の広域化に関する基本指針について」の基本的な考え方を聞く。
- ②非常備消防としての消防団組織の本来の役割と、また近年困難となっている団員確保についての考え方を聞く。

3. 健康寿命について

先の10月市議会定例会では、市長の公約から健康寿命についての議論がなされた。このことについては安倍晋三内閣総理大臣の「美しい国へ」という著書の中で、平均寿命と健康寿命の落差を小さくすることができれば、医療、介護の給付対象者を減らすことになり、財政にとっても負担する側にとってもプラスであり、実現可能だと書かれている。そこで2005年からの10ヵ年計画「健康フロンティア戦略」を立て健康寿命を延ばす政策展開を計られている。本市もこの戦略を越えるような戦略を早期に立て健康寿命延伸に寄与する施策展開をすべきではないか。

●年代別 人口(外国人含まず) 平成18年11月末現在

| 年代 | 構成率 | 人数 | うち男 | うち女 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 9才以下 | 8.0% | 3,706 | 1,944 | 1,762 |
| 10才代 | 9.8% | 4,523 | 2,295 | 2,228 |
| 20才代 | 9.3% | 4,302 | 2,233 | 2,069 |
| 30才代 | 11.6% | 5,351 | 2,741 | 2,610 |
| 40才代 | 10.7% | 4,939 | 2,488 | 2,451 |
| 50才代 | 14.8% | 6,834 | 3,476 | 3,358 |
| 60才代 | 13.3% | 6,129 | 2,899 | 3,230 |
| 70才代 | 13.3% | 6,123 | 2,724 | 3,399 |
| 80才代 | 7.4% | 3,424 | 1,176 | 2,248 |
| 90才代 | 1.7% | 778 | 195 | 583 |
| 100才代 | 0.0% | 17 | 0 | 17 |
| 計 | 100.0% | 46,126 | 22,171 | 23,955 |

(再掲)

| 平均年齢 | 合計 | 男 | 女 | |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| 15才未満 | 12.7% | 5,843 | 2,995 | 2,848 |
| 15~64 | 58.4% | 26,924 | 13,668 | 13,256 |
| 65才以上 | 29.0% | 13,359 | 5,508 | 7,851 |
| 70才以上 | 22.4% | 10,342 | 4,095 | 6,247 |

| 平均年齢 | 合計 | 男 | 女 |
|------|------|------|---|
| 47.7 | 45.5 | 49.8 | |

●地区別 世帯及び人口(外国人含まず)

| 地区名 | 世帯 | 人口 | うち男 | うち女 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 井原 | 2,093 | 5,549 | 2,593 | 2,956 |
| 出部 | 2,367 | 6,709 | 3,272 | 3,437 |
| 高屋 | 1,430 | 3,955 | 1,942 | 2,013 |
| 大江 | 742 | 2,255 | 1,102 | 1,153 |
| 稲倉 | 676 | 2,163 | 1,046 | 1,117 |
| 木之子 | 1,116 | 3,106 | 1,456 | 1,650 |
| 県主 | 558 | 1,696 | 810 | 886 |
| 荏原 | 965 | 2,906 | 1,427 | 1,479 |
| 野上 | 199 | 576 | 285 | 291 |
| 青野 | 327 | 1,050 | 507 | 543 |
| 西江原 | 1,735 | 5,050 | 2,464 | 2,586 |
| 芳井 | 1,940 | 5,702 | 2,690 | 3,012 |
| 美星 | 1,758 | 5,409 | 2,577 | 2,832 |
| 合計 | 15,906 | 46,126 | 22,171 | 23,955 |
| 外国人 | 460 | 504 | 88 | 416 |

◆編集後記◆

9月に市長選挙があり、通常の9月定例会が約1ヶ月ずれ込み10月定例会として開会の運びとなり「たより」の発行が12月定例会との合併号となりました。「たより」は制作に約1ヶ月、配るのに約2ヶ月かかりますので、今回はやむなく1回休みとなりました。3ヶ月に1回市内を歩いて(バイク・車も使います)回るのですが、3ヶ月間のまちの変化に驚かされることもあります。同時にまちの息吹も感じます。いつかお会いしましたら気軽に声をかけください。